

CMSC JOURNAL

Vol.38

全日本ダートラ(1戦~4戦)

CMSC勢 大活躍!

第1戦荒井信介選手 (CMSC 群馬)

第2戦赤羽政幸選手 (CMSC 山形)

第4戦櫛田正文選手 (CMSC 岐阜)

優勝

逆転! 赤羽



好調! 荒井



復活! 櫛田

写真右上 第1戦1~4位を独占して表彰台に立つ、1位荒井信介選手(CMSC群馬)、2位宝田芳浩(CMSC札幌)、3位北村和浩(CMSC岐阜)、4位赤羽政幸選手(CMSC岐阜)のCMSC勢。

ポイントランキングでも 上位にひしめく大活躍

全日本ダートラ第1～4戦

- 第1戦 三井三池オートスポーツランド
3月13日(土)・14日(日)
- 第2戦 丸和オートランド那須
4月10日(土)・11日(日)
- 第3戦 テクニックステージ・タカタ
5月8日(土)・9日(日)
- 第4戦 ミナミユースランドサーキット
6月5日(土)・6日(日)

'93全日本ダートトライアル選手権第1戦「ラスカルスプリングトライアルin三井」は、3月13、14日の2日間福岡県大牟田市の「三井三池オートスポーツランド」で華々しく開幕しました。

昨年最終戦でデビューウインを飾ったランサーエボリューションが緒戦から勢揃いして今年の熱戦の主役になることを予感させるようでした。

そして、その予感どおりに第1戦で荒井信介選手(CMSC群馬)が優勝。第1戦、1日目は初めてのコースに戸惑いながら各選手慎重な走りに終始していました。2日目の決勝、第1ヒートでは、予選順位とは逆の順番でスタート。各選手とも様子を見ながらのチャレンジとなりました。ベストタイムを叩き出したのは、北村和浩選手(CMSC岐阜)で1分53秒14。最後から2番目にスタートした荒井選手はこのタイムを知った上でのアタック。結果は、0秒24遅れの2位。そして午後からの第2ヒート。ベストタイムをマークした北村選手は相変わらず好調で、1分51秒42と先発選手達を突き放す好記録。優勝争いは、我々がCMSC勢の宝田芳浩選手(CMSC札幌)、荒井選手、榎田正文選手(CMSC岐阜)の3人の結果如何ということになりました。惜しくも榎田選手はリタイアしてしまいましたが、宝田、

荒井の両選手は北村選手を標的に果敢なアタック。「第1ヒートの走りて十分な手応えを感じた。」と余裕のコメントをしていた荒井選手は、宝田選手の1分50秒86を0秒14上回るタイムで見事優勝。北村選手は3位、そして4位には赤羽政幸選手(CMSC山形)が入賞と、CMSC勢が1～4位独占という結果でした。

開幕戦で1～4位独占を果たしたCMSC勢は続く第2戦の「スズキカップSSCCダートトライアル」(4月10日～11日)でも好調。初日の予選のトップタイムこそインプレッサの山下選手に取られはしたものの、北村選手が0秒32差の2位、その後には赤羽選手が続きます。

決勝第1ヒートでは絶対調荒井選手が2分01秒82でトップインプレッサの山下選手は2分02秒21の2位、その直後に宝田、北村両選手がつけて、赤羽選手は03秒台の6位。第2ヒートでは出場各選手積極的なアタックをするも荒井選手のベストタイムには及ばないところへ、赤羽選手の2分01秒21が飛び出す。山下選手も0秒55届かない。優勝争いは残る荒井、榎田の両選手。しかしどちらも赤羽選手のタイムには届かず、結局赤羽選手の見事な逆転優勝となりました。「コースは完璧だったし、よく知りつくしている自信はあった。今シーズンはどうしても3位以内に入ってシードを確保したい。もちろん最終的にはチャンプを狙っています。」とは赤羽選手のコメント。連続での1～4位独占は逃したものの、3位に荒井選手、4位に宝田選手が入って相変わらずCMSC勢の好調振りでした。

続く第3戦、「ダートトライアルin TAKATA」(5月8日～9日)は、決勝で晴れから雨へと天候の変わる中の激戦でしたが、CMSC勢は惜しくも3連勝ならず1、2戦で健闘を見せていた岐阜の北村選手が2位、絶対調群馬の荒井選手が3位、榎田選手

が6位という結果に終わりました。しかし優勝したのは、同じ三菱勢の田口選手。ランサーエボリューションは3連覇と圧倒的な強さです。

そして舞台は秋田県田沢湖に移動しての第4戦。「'93 THE TRIAL IN TAZAWA」(6月5日～6日)では、またまたCMSC勢が大暴れ。

雨の中の予選上位には、荒井信介選手(CMSC群馬)、北村和浩選手(CMSC岐阜)、赤羽政幸選手(CMSC山形)、宝田芳浩選手(CMSC札幌)、それに今シーズンの滑り出しに振るわなかった'92シリーズ2位の榎田(CMSC岐阜)選手が顔を連ねての大激戦。翌日の決勝。小雨になったとは言え依然としての悪コンディション。それでも各選手、闘志むき出しでのチャレンジを繰り返しました。

第1ヒートベストタイムをはじき出したのはベテラン榎田選手。「1本目に全てをかけて全力投球した。」という言葉でもわかるように、穴が掘れ、ギャップの激しい路面の苛酷なコンディションの中での1分30秒90のベストタイムは、第2ヒートで逆転を狙う各選手には大変なプレッシャーとなったはず。

第2ヒートだけならば砂塚明男選手(CMSC山形)の1分31秒76なのですが、それでも第1ヒートの上位選手には及びません。結果は、最後から2番目にスタートした荒井選手が第1ヒートのベストタイムを超えられなかった時点で榎田選手の優勝が決定しました。榎田選手は昨年の第2・3戦を連覇して以来の優勝。実に1年ぶりのベテラン復活といったところ。まだまだいけますね。

CMSC勢は3位に宝田選手、4位に荒井選手、5位に砂塚選手、6位に赤羽選手が入ったの大暴れ。第4戦まででの総合でも、1位荒井選手、3位宝田選手、4位赤羽選手、5位北村選手、6位榎田選手と上位にひしめいています。残り5戦さらに活躍してくれることでしょ。期待しています。



ポイント1位 荒井信介選手 CMSC群馬
ポイント3位 宝田芳浩選手 CMSC札幌
ポイント4位 赤羽政幸選手 CMSC山形
ポイント6位 榎田正文選手 CMSC岐阜



ポイント5位。1～4戦で健闘を見せる北村和浩選手(CMSC岐阜)の走り

AIVクラスシリーズポイントランキング

順位	ドライバー	車名	第1戦	第2戦	第3戦	第4戦	合計
1	荒井信介 (CMSC群馬)	ランサー	20	12	12	10	54
2	山下公男	インプレッサ	0	15	10	15	40
3	宝田芳浩 (CMSC札幌)	ランサー	15	10	0	12	37
4	赤羽政幸 (CMSC山形)	ランサー	10	20	0	6	36
5	北村和浩 (CMSC岐阜)	ランサー	12	4	15	2	33
6	榎田正文 (CMSC岐阜)	ランサー	R	3	6	20	29
7	田口盛一郎	ランサー	3		20		23
8	竹本素信	ランサー	8	8	0		16
9	湯本 敬	ランサー	6	6		0	12
10	田口勝彦	ランサー	1		8		9

ポイント3位。安定した走りでポイントを積み重ねる宝田選手。



いろいろとステップアップの73台

CMSC仙台

'93ステップアップジムカーナ

5/23 SUGOカートコース

昨夜からの雨も朝6時頃には上がり、暑いくらいの日差しの中、今年で3回目の「ステップアップジムカーナ」が5月23日スポーツランド菅生カートコースで開催されました。クラブ員21台、A I 9台、A II 24台、A III 16台。そして今回、速い人（過去公認イベントで上位入賞経験のある人）には別クラスで走ってもらおうと、エキスパートクラスを設けま

したが、たったの3台。計73台の、クローズド競技ならではの多種多様の車両が参加しての競技となりました。

当日リアートから講師として高橋利武さんを招き、エントラントと一緒に慣熟走行時には走り方のアドバイス、そして美しいC II ミラージュでのデモ走行もしていただきました。

2トライ終了後、コース上で各クラス上位入賞者の表彰式。そしてわがクラブ毎年恒例の抽選会。入賞者以外の参加者全員に景品を渡し、午後5時30分「'93ステップアップジムカーナ」が無事終了しました。クラブ員の皆様、御苦勞様でした。



年1の仙台三菱、高田社長のデモ走行も「ステップアップジムカーナ」していると思われます。
(CMSC仙台 佐々木幸人)

オフィシャル経験を次に生かす

CMSC岐阜

DE地区第1戦スタートナイトラリー

今年も昨年に引き続き「DE地区第1戦スタートナイトラリー」のオフィシャルとして、クラブ員11名が出かけました。

C・Bクラスとも圧倒的に三菱車が多く、さながらランサー・ミラージュのワンメイクであるかのよ

うに思えました。当クラブやCMSC大阪からのエントリーもあり、クラブ員の活躍を期待しつつ担当箇所へと向かいました。

担当箇所は昨年と同じSSのスタート・ゴール。「勝手知ったる・・・」と言いたいところですがやはり緊張感が漂います。第1ステージのSSをこなし、しばしの休憩をはさんで第2ステージのSS。ちょうどC P開設あたりから雨が降り出し、1号車がスタートするころには本降りになり、途中からは

雷を伴う大雨に変わり、雨と汗でずぶぬれになりながらのオフィシャルでした。しかしそれ以上に、荒れたコースにアタックするドライバー・ナビそしてラリー車にとっては、過酷であったでしょう。

今回の経験を通じ、エントラントの対応処理、トラブル処理等、数多くの経験ができました。単なるお手伝いに終らずCMSC岐阜が主催するときの糧となるよう今後に活かして行きたいと思えます。
(CMSC岐阜 山田 裕之)

シリーズ前半の山場に91台が参加

CMSC栃木

栃木県シリーズ第3戦ジムカーナ

5月23日

当クラブ主催のジムカーナも今年で回を重ねること5回目となり、県内でもそれなりの評価を得られるイベントになりました。栃木シリーズの中でも毎年最高の参加台数を集め、シリーズ前半の山場として毎年盛り上がりを見せていましたが、心なしか今年に入ってモータースポーツ全般、特に手軽に参加できたジムカーナの参加が少なくなっているように思えます。事実、今回のジムカーナも参加台数が91台

と少なく、昨年まで毎回100台を超える参加を集めていたのが嘘のようです。それでも、今年より新設されたNクラス11台を含めてのことですから、これがないと、かなりさびしいイベントになっていたかもしれませぬ。

今回のジムカーナは雨を予想してコースの設定を行いました。少し距離を短くしてパイロンの数も抑えて、シンプルにパイロン2本を中心として、全体としてはかなりハイスピードながら、要所はテクニックもかなりタイムに影響する、コースがウェットの状態です。1分10秒前後のタイムでゴールする設定としました。しかし予想に反して天候の回復が早く、早朝には雨も上がり、午前9時の競技開始時にはコ

ースもほとんど乾いてしまい、約1分前後で周回する競技者が続出しました。参加者にとっては、少し物足りないものがあったかもしれませんが、ミスコースなし、トラブルなしといった非常に順調な競技進行となり、結果的にはこれが良かったのではないかと自負する次第です。
(CMSC栃木 町田 俊英)



コンディションの変化で激戦

CMSC香川

'93CMSCアストロトリアル I

3月7日

四国地方選手権第2戦として、3月7日に'93 CMSCアストロトリアル I を開催しました。出走台数は68台と非常に少なかったのですが、競技の方は熱い戦いとなりました。前夜の雨で、1本目はウェットなコースコンディション、2本目はドライ

になるのがわかっていたので、1本目のタイムでは結果が全く予想できなかったからです。

また、四国でもランサーエポリューションの強さが目立ち、AIVクラスでは西岡選手のランサーが優勝しました。

(CMSC香川 白井 修)

チャレンジカップV2にチャレンジ

CMSC青森

'92年は念願のチャレンジカップジムカーナ部門第1位となりましたが、今年もV2を目標に主にB地区戦をクラブ員と一緒に楽しみながら走りたいと考えています。車は旧ミラージュ



C53Aで足廻りがまだしっかりとときまりませんが、

何とか走りしたいと思います。できれば新ミラージュでと思いますが・・・。やれる所までがんばりますのでよろしく。(今年5月末現在1位4回とがんばっております) (CMSC青森 小館 久)

先輩と一緒に走ります

昨年は先輩の小館選手と一緒に走りチャレンジカ

ップ3位になりましたが、今年も出来る限り競技会に出場したいと思います。

(CMSC青森 佐々木堅太郎)



佐々木堅太郎選手は6月13日に結婚いたしました。おめでとうございます。

インターナショナルレースで奮闘中

CMSC山形 小川日出生 '93インターナショナルレース参戦記

外川会長の勧めでミラージュレースに参戦して、いつの間にか7年目に入りました。東北とフレッシュマンレースのダブルタイトルを2年連続で獲得し、現在はインターナショナルレースに参戦中です。このクラスにはグループAやF3などに参加しておられる強剛ドライバー達が名をつらね、なかなか入賞が難しい中、昨年は6位に入賞、シリーズ11位でした。今年は表彰台に立ち、シリーズ5位を目標に参加したのですが、バブルもはじけ不況の中スポン

サーも決まらず、ただ今苦戦中です。

4月10日第1戦富士インターナショナルレースが始まりました。セッティング不足、練習不足の中、予選は6番手と好ポジションを獲得しました。トップと最後尾との差が3秒というまれにないレースカテゴリーです。決勝スタートして抜きつ抜かれつの白熱したレース展開が続きました。一時は10番手まで順位を落としたものの6位でゴール。初戦にしては上々の出来でした。1周の間に3台抜くと、次の周には3台に抜かれるという富士スピードウェイ独特のスリップストリーム使い合いのレースでした。

第2戦目はゴールデンウィークあけの5月9日。山形から2,000kmもはなれた山口県はMINEサーキ

ットで行なわれました。予選は7番手。決勝日はどしゃ降りの大雨。雨のセッティングをする時間もなかつた。コースRがきわめて低いため大オーバーステアの世界で車がクルクル廻り、大スピン状態でなんとかゴールまでがんばっての8位でした。CMSC埼玉からエントリーの瀬在選手とゴール後「アイスパーンの中スタッドレスで走ると同じだよ!!」と大笑い。雨が本当にうらめしいレースでした。

5月19日の東北レースにはCMSC青森の大西選手がエントリー。予選は小雨の中、初出場で2位と皆から優勝の呼び声もかかる大健闘。しかし決勝はレース独特のセリ合いに慣れのため、2台、3台と抜かせてしまいます。結局9位でゴール。しかし「レースも楽しいものだね!」と一言。

皆さんレースにも参戦してみませんか。CMSC山形ではレンタレース車も準備しています。

お披露目に48台参加

CMSC広島 CMSC広島お披露目ダートトライアル

平成5年4月4日、CMSC広島設立記念イベントとして「CMSC広島お披露目ダートトライアル」を開催しました。急に開催する事となったため準備期間が1ヶ月と短く、参加台数が集まるかどうかとても不安な準備期間ではありましたが、当日は48台の出走台数があり、まずは一安心。競技の方も1台転倒車がありましたが、大きなトラブルもなく無事終了することができました。A-

IVクラスにおいては、出走車12台中9台が三菱車となり、入賞車両も1位から4位までランサー・エボリューション、5位6位がギャラン・VR-4と入賞全車が三菱車となってしまいました。

今後も今回のイベントをステップにして、継続的にイベントが開催できるよう、チーム員一同頑張っ

て行こうと思っております。



'93全国大会のお知らせ
昨年引き続き、今年もCMSC全国大会を8月に開催します。皆さんふるってご参加下さい。

- 日時：8月21日(土) 当日泊
- 場所：福島東北サファリパーク・エビスサーキット
- 内容：支部対抗ジムカーナ競技
バーベキューパーティー
など盛り沢山

V7目指して山形好スタート

'93チャレンジカップ

V7目指して好スタートした山形。それを追いかけるのは強豪群馬と青森。今年から参戦の広島も172点

と健闘。個人部門も激戦が予想されて楽しみな幕開けです。さあ、今年も頑張りました。

●クラブ別獲得ポイント

	1~5月	6~8月	9~11月	合計
山形	598			
群馬	477			
青森	462			
岐阜	385			
香川	312			
札幌	282			
帯広	269			
岩手	227			
福島	173			
広島	172			
島根	163			
千葉	125			
愛知	97			
栃木	70			
仙台	29			
大阪	17			
埼玉	14			

●ラリー・ドライバー部門

奴田原文雄	札幌	110
渡辺俊昭	山形	66
小林康弘	帯広	60
丹羽浩道	千葉	52
三谷義和	千葉	46
館山正嗣	青森	34
宮部俊典	栃木	28
勅使川原光	千葉	24
岩根つもる	広島	24
対馬雅人	青森	20

●ラリー・ナビゲーター部門

朝岡達也	愛知	70
伊吹浩明	帯広	44
今野泰正	山形	42
永沢裕之	青森	34
青木功	栃木	28
岡田祥昌	広島	24
対馬隆志	青森	20
間宮宏幸	岐阜	18
金子弘	群馬	16
伴英憲	青森	10

●ダートトライアル部門

赤羽政幸	山形	190
荒井信介	群馬	187
櫛田正文	岐阜	170
宝田芳浩	札幌	158
大井こずゑ	群馬	140
高竹優之	香川	140
及川光政	岩手	88
鈴木功敏	山形	86
館山正嗣	青森	86
菅野茂	山形	85

●ジムカーナ部門

小館久	青森	120
須田行雄	福島	100
上泉晃祥	福島	45
伊藤良伸	島根	25
荒井信介	群馬	20
北脇幹人	島根	13
鈴木日出明	山形	13
前田義人	青森	12
萩原聡	帯広	12
祖田和安	島根	12

●レース部門

小川日出生	山形	20
瀬在仁志	埼玉	14
今野広志	仙台	12
荒井信介	群馬	12
小出辰彦	愛知	10

●ポイントのつけ方

リタイアには予選不通過も含む

	1位	2位	3位	4位	5位	6位	7位	8位	9位	10位	11位以下	リタイア
ポイント	A 40	30	24	20	16	12	10	8	6	4	2	0
	B 20	15	12	10	8	6	5	4	3	2	1	0

A = 全日本選手権、地方選手権
但し、ダートトライアルにはオールスターダートトライアル
ジムカーナにはJAF CUPジムカーナ
レースにはフォーミュラ・ミラージュ、ミラージュカップを含む
B = それ以外の競技会